

令和2年度 事業報告

掲載日：2021年6月19日

◎社会福祉法人やちぐさ会全体として

1. 入所式（利用者2名が入所される）

令和2年4月1日、入所式が工房2階で行われた。多機能型事業所やちぐさ・就労継続支援B型事業所「やちぐさ作業所」に新しく2名が仲間入りをされました。

就労継続支援B型事業所「やちぐさ作業所」の現員は24名から26名となりました。

2. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取り組み

国からの事務連絡を参考にやちぐさ会全体で新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をおこないました。

- ① マスクの着用・手洗いの徹底・アルコール消毒（手指・手すりやドアノブなどの共有物）の実施
- ② 利用者の健康状態の把握と変化の有無（出勤時・日中・帰宅前）
- ③ 利用者の出勤前・作業中・帰宅前検温の記録及び職員の出勤前検温の実施と記録
- ④ 面会者および業者の来訪記録（日時・連絡先）
- ⑤ 3つの密（換気の悪い密閉空間・多数が集まる密集場所・間近で会話や発声をする密接場面）を避ける
 - ・ZOOMを活用し全体朝礼やエアロビクスの会場を分散して開催しました。
 - ・バスの送迎では密を避けるため、送迎車輛を1台増車しました。
 - ・食事の密を避けるため、食事の時間帯3つに分けて作業班別に食事を摂っていただくようにしました。
 - ・作業場では空気の入れ替えのため定期的に換気をおこないました。

3. 金沢市「新型コロナウイルス感染症対策に係る

障害福祉施設感染防止対策補助金」について

障害福祉サービス事業所におけるマスクや消毒液等の衛生用品購入の補助金として、7月下旬に82,000円、8月下旬100,000円が金沢市より振り込まれ、補助金はエンボス手袋・非接触型体温計・ハンドソープ・アルコール・次亜塩素酸水・不織布マスク等の衛生用品の購入に充てられました。金沢市からの補助が受けられ感染防止対策のための衛生用品が充実しました。

4. 石川県新型コロナウイルス感染症

緊急包括支援交付金（障害分）申請について

①障害福祉サービス施設・事業所における感染症対策徹底支援事業	1, 216, 000円
②在宅サービス、計画相談及び障害児相談支援における環境整備への助成	194, 000円
③障害福祉慰労金事業	1, 300, 000円
合計 2, 710, 000円の交付申請を石川県におこないました。	

- ① の事業では、多機能型事業所やちぐさ・神宮寺ホーム・計画相談それぞれの事業所における感染症対策のための衛生用品購入等の整備がされます。
- ② の事業では、計画相談事業所における感染症対策のための飛沫防止パネル設置等の環境整備がされます。
- ③ の事業では、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら、障害福祉サービス等の継続に努めていただいた職員に対して慰労金が1人あたり50, 000円支給されることになりました。

当法人では障害福祉慰労金の支給要件に該当する26人の職員に対して5万円の慰労金が給与とは別に支払われる予定となっています。

5. 4月20日付石川県より利用自粛要請・その他

県の利用自粛要請を受け、多機能型事業所やちぐさの就労継続支援B型および生活介護では利用自粛を希望される利用者については個別に相談を受け対応をおこないました。在宅でやちぐさ同様の支援をご希望された就労継続支援B型の利用者13名については金沢市(12名)・白山市(1名)へ在宅利用の申請をおこないました。生活介護や共同生活援助の利用者で事業所の利用自粛を希望し在宅でやちぐさやグループホーム同様の支援をご希望された方については、在宅で出来得る限りの支援をスタッフが行なうなどご家庭での様子や体調面の変化・不安解消のためのアドバイスなどを利用者や保護者におこないました。

また、コロナ禍の影響によって、キャリアパスにかかる職員研修はすべて中止となりました。幸いリモート研修のものがあったので事業所内で一部の職員には受講してもらいました。

6. 日本財団2020年9月度福祉車両事業の助成金申請について

利用者および保護者の高齢化によって保護者による送迎の付き添いが困難になる方が出てきている状況となっています。特に高齢化を迎えた保護者からきめ細かな送迎サービスを強く望む声も大変多く寄せられるようになってきました。送迎車の整備によって保護者の送迎に係る負担の軽減を図るために、令和2年9月23日、送迎車(普通車)セレナ2WDガソリン 定員8名の助成金申請をおこないました。

- ① 車両価格：2,009,500円
② 登録諸費用：265,090円 総合計：2,274,590円
助成金：1,570,000円
法人負担額：704,590円

助成金申請の審査結果については、12月下旬に通知が届き残念ながら不採択となりました。

7. ポータルサイト「いしふく」にて「いしかわ魅力ある福祉職場認定制度」認定事業者の取組紹介ページに社会福祉法人やちぐさ会の取り組みや職員のメッセージが掲載されました。

石川県介護・福祉の事業の魅力発信
ポータルサイト いしかく

いしかわ魅力ある福祉機関認定事業者 取り組み紹介

法定実務者 認定実務者

社会福祉法人 やちぐさ会

「やちぐさ会の基本理念」
働くよろこび生きがいを高めに

本拠地所在地 金沢市
認定の年数 令和3年
法人URL <http://www.yachigusa.or.jp>

認定事業者の取り組み

◎ キャリアパスと人材育成について

①キャリアパスについて 5ヶ月の育児一時預かりに分けたキャリアパスを実現しています。そのなかで、面倒内容や経験年数、昇進昇格を明確にしています。主に育成計画の実施に伴って研修の実施について、キャリアパスの階級に応じた自習・ペル、研修、自己成長を明確にしています。また、育成計画によって求められる能力目標を明確にすることで、学年や職種・資質など異なる職場間の連携を図るのも特徴的です。(※) 幼稚園教諭に対する育成について、専門性を考慮した適切な指導体制を確立し、福利厚生面の充実を図ることを含めます。

◎ 勤務環境について

① 体調管理支援 対象者時間外勤務の効率化実施について…②兼業・代休制度・計画有給取得実現について…③育児介護を両立できる勤務の実現について…④育児休暇受け取扱いの実現について…⑤育児休暇・育休後の配置に関する認定等を実現しています。

②就業時間実現について…③シフトシザーランス実現について…④就業時間実現について…⑤福利厚生面の充実を図ることを含めます。

認定からのメッセージ

毎日、楽しく働いています!

名前 鶴見 恵里
事務職名 多機能型介護施設やちぐさ 生活介護事業所「いさい」
性別 女性
年齢 35歳
担当課 文部課(主任)

◎ 仕事で大切にしていることは?

「困難を抱えないことです。また、より豊富でいることは、いかにもかぎらぬことです。やりがいがあるから乐しく働いています。手帳の記入に迷う時は、お隣の方に聞くのが好きです。施設へ行く際は必ず「ごはん」を買っています。(ごはん)「ケータイ」とも一緒にいます。一人ひとりの得意分野をもつて方でありますように思っています。人は必ずめざしを立てる時に「また頑張ろう!」とも思っているからいい風に立ち向かうと思います。(おはなし)日々、必ず「なぜ」「なぜ」を尋ねることをが好きです。謙虚と感謝されることが好きであります。感謝されると喜びを感じると思うので、利用者のために常に努力を続けることを日々の使命としています。

◎ 仕事と育児の両立はできる?

私は度出勤していますが、育児休暇も取ることが出来ました。仕事と育児は両立は大変ですが、藉端全体に理解があるおかげで働くことができます。仕事から出でてもバタバタして生活が疎かになります。育児は立派でできています。親立派でできているのかどちらか分からず、お母さんも喜んでいます。

やがてのある仕事なんですね。きっとあなたもそう感じてもらえるはずです!

名前 加藤 正子
事務職名 多機能型介護施設やちぐさ 生活介護事業所「いさい」
性別 女性
年齢 55歳

◎ どう仕事をしていました?

最初は介護の専門性から離れていたことを多機能型介護施設やちぐさの仕事を通じてしてきました。介護の仕事に慣らすのが、最初は面倒でしたが、他の職員と一緒に「一緒にやる」ということで、やがては「自分自身が喜んでやっている」という気持ちになりました。やがては「自分自身が喜んでやっている」という気持ちになりました。やがては「自分自身が喜んでやっている」という気持ちになりました。やがては「自分自身が喜んでやっている」という気持ちになりました。やがては「自分自身が喜んでやっている」という気持ちになりました。(笑)

◎ 仕事でやりがいを感じることは?

利用者さんとの接觸の中で、みんなの気持ちのない笑顔や元気で笑った時にこの仕事について良かったなと思います。嬉しい(?)で仕事しながら仕事している中で、みんなで笑ひ合ったりあります。また、施設にてては、お手伝いをしておりませんから、「一緒に笑って、一緒に考え、一緒に行動する事が一番やりがいがあると思います。

「いしかわ魅力ある福祉機関認定制度」とは

石川県では、平成22年春期「いしかわ魅力ある福祉機関認定制度」を推進しています。

認定事業者は、施設がよりいいものを持ち、安心して働くことができる職場環境づくりに取り組む事業者を表彰する制度です。

QRコード

8. 石川県より新型コロナウイルス感染症発生に備えた施設間の相互応援体制への協力要請があり、令和2年9月24日「いしかわ福祉施設相互応援ネットワーク」に職員派遣可能施設名簿登録書を提出し、職員派遣可能施設として登録される

他県では、新型コロナウイルスの感染症のクラスターが発生し深刻な人手不足となった施設に応援職員が派遣された事例がありました。

石川県でもこうした事態に備え「いしかわ福祉相互応援ネットワーク」を立ち上げ、感染等が発生した施設入所者へのサービスが継続して提供されるよう応援職員の派遣に協力できる施設を募集することになりました。石川県より派遣依頼があった時は、当法人の男性職員1名が登録されているので応援職員として派遣することになっています。

9．日本郵便 年賀寄付金配分申請（車両購入申請）について

令和2年10月29日（木）、日本郵便 年賀寄付金配分申請（車両購入申請）をおこないました。申請事業名：「積雪時における施設内の除雪や山林整備など施設利用者への提供サービス向上のため油圧ショベル購入事業」

内容：

- ・購入する油圧ショベルを活用し、積雪時における施設内の除雪や山林整備に伴うグラウンドゴルフ場の拡大・農場整備をおこなうなど施設利用者への提供サービスを図ります。
- ・大雪への対策として、施設内の除雪をおこない利用者の転倒防止とバスの通常運行に支障がないようにする。
- ・地域貢献として、グラウンドゴルフ場を一般開放し地域住民の交流機会創出などに活用いただく。また、地域において自然災害等で土砂崩れがあり油圧ショベルの貸し出し要請があった時には迅速に油圧ショベルの提供をおこないます。

購入車両メーカー：ヤンマー

購入車両の車種名：油圧ショベル Vi020-6

- ① 車両価格： 3, 025, 000円
- ② 配分申請金額： 2, 025, 000円
- ③ 自己負担金額： 1, 000, 000円

年賀寄付金配分の審査結果については、令和3年3月30日に採択の通知が届き2021年度・年賀寄付金の配分が受けられることになりました。

10．共同生活援助（グループホーム）利用者の異動がありました

南御所ホームに入所する1名の情緒不安定などにより、南御所ホームに併設される短期入所事業所やちぐさの円滑な運営に問題が生じたため、ご本人・保護者と話し合いを重ねた結果、同意が得られ11月6日付けで、南御所ホームを利用する1名がやちぐさホームへ引っ越しすることになりました。これに伴いやちぐさホームを利用する1名についても同意を得て南御所ホームへ引っ越しすることになりました。

11．金沢市・令和2年度障害福祉施設感染症防止対策費補助金について

9月24日、金沢市より障害福祉施設感染症防止対策費補助金の要望調査が実施され当法人において感染対策に係る衛生用品（マスク・消毒液・ペーパータオル）等の経費を令和2年6月1日から令和3年3月31日までの間に購入または確実に納品出来る物品を記載した「要望調査票」を令和2年10月7日、メールにて金沢市福祉局障害福祉課へ提出しま

した。

令和2年11月12日、障害福祉施設感染症防止対策費補助金212,000円の補助金交付申請書を郵送にて提出しています。石川県の新型コロナ感染症緊急包括支援事業（障害分）の補助金とは別枠となっており、これらの補助金のおかげで法人における保健衛生費については大幅な負担軽減につながりました。

12. 石川県の新型コロナ感染症緊急包括支援交付金（障害分）

追加の申請について

9月の理事会で報告できなかった追加の申請がありましたので報告いたします。

① 生活介護支援における環境整備への助成	200,000円
② 共同生活援助における感染対策徹底支援事業	
(多機能型簡易居室の設置)	2,984,000円
合計3,184,000円の申請をしております。	

- ① の事業では、感染対策に係る衛生用品（マスク・消毒液・ペーパータオル）等が整備されます。
- ② の事業では、やちぐさホームの敷地内スペースを活用し、多機能型簡易居室A棟（エアコン・ミニキッチン）・多機能型簡易居室B棟（エアコン・ミニキッチン・トイレ）を整備されます。用途としては、コロナ感染の発生時対応や・感染対策に係る衛生用品の保管等柔軟に活用できる物となっています。

13. 金沢市地域生活支援拠点事業所（相談支援事業所やちぐさ・障害児相談支援・特定相談支援）登録について

地域の事業所が協力して障害のある人・障害のある児童の暮らしを支えるということで金沢市地域生活支援拠点推進事業が令和2年10月から運用が開始されました。

金沢市からの協力要請もあり令和2年10月1日付で、相談支援事業所やちぐさは金沢市が推進する金沢市地域生活支援拠点事業所に登録をされました。

相談の地域生活支援拠点事業所として、①緊急対応②「親なき後」も想定したかなざわ安心プランの作成③連絡会議への参加が役割となりました。

14. 石川県の新型コロナ感染症緊急包括支援事業（障害分）・

障害福祉慰労金対象者26人への支給について

障害福祉慰労金とは、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら、障害福祉サービス等の継続に努めた職員で慰労金の支給要件を満たした者に支給がなされます。

当法人において、障害福祉慰労金の支給要件を満たす対象者は26名ありました。

令和2年10月13日、障害福祉慰労金として1,300,000円の交付を受けました。

障害福祉慰労金（支給要件を満たす対象者 26 名）の支給については、令和 2 年 11 月 10 日、多機能型事業所職員 16 名・相談支援事業所職員 1 名・共同生活援助事業所 9 名合計 26 名に対し給与とは別にして 1 人あたり 50,000 円の振り込みが完了しています。

15. 石川県の新型コロナ感染症緊急包括支援（障害分）の交付金別・購入品について

令和 2 年 10 月 13 日、石川県の新型コロナ感染症緊急包括支援事業（障害分）の補助金交付を受け、感染対策に必要な物品を注文し購入しています。

既に飛沫防止パネルは食堂・作業場・グループホーム・相談支援事業所やちぐさに設置されておりますが、間仕切りについても納品済となっています。

石川県の感染防止対策のための補助金交付を受けて衛生用品等は順調に納品されて充実してきました。その他換気機能付きエアコン 1 台・空気清浄機 2 台やサーチューラー 9 台等を導入するなどやちぐさ会全体で、現在感染防止対策に向けて活用されています。

16. 共同生活援助・神宮寺ホーム（定員 4 名）開所 20 周年記念

今年度神宮寺ホームが開所 20 周年を迎えました。開所 20 周年記念にユーチューブなどの動画が楽しめる最新型液晶テレビとカラオケが楽しめるゲーム機「Nintendo Switch」を購入しました。

コロナ禍の中、感染防止のため外出が難しくなっていますが在宅でもカラオケボックスのように歌が歌えて楽しいと入所者に大変好評となっています。



17. 1月大雪によるお休みのお願いとビニールハウス2棟の倒壊について



1月7日からの大雪影響で利用者の通所困難が予測されるため8日、9日、12日については保護者へお休みのお願いをしました。

保護者の都合でお休みできない方とグループホーム入所者については通常送迎コースを変更した特別送迎を実施して多機能型事業所やちぐさへ出勤いただきました。

7日からの大雪は勢いがあり男性職員総出でやちぐさ周辺の除雪に追われました。除雪が追いつかず13日には積雪の重さによりビニールハウス2棟が倒壊てしまいました。左上の写真は野菜用ハウスでした。昨年5月に設置しミニトマト・大根・白菜を栽培していました。左下の写真は、山野草の寄植え作業用ハウスとして使っていました。

18. 石川県緊急包括支援金報告が完了する

1月28日、令和2年10月付けで交付決定を受けた新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（障害分）に関する事業が完了しました。

実績について関係書類を添えて石川県へ報告をおこないました。交付決定額5,901,000円に対し、事業実績額は6,030,000円となり超過分129,000円はやちぐさ負担となりました。

19. 金沢市・多機能型事業所やちぐさ事業所更新手続き

1月29日、金沢市障害福祉課へ多機能型事業所やちぐさ（生活介護・就労継続支援B型）事業所更新に係る関係書類一式を提出しました。

3月5日付けで指定の更新の通知が届きました。指定の期間は令和3年4月1日～令和9年3月31日となりました。次回申請は令和9年1月下旬を予定しています。

20. 社会福祉法人やちぐさ会へ中日新聞社会事業団北陸支部より10万円寄付

2月10日、中日新聞社会事業団北陸支部 河津 市三理事長が多機能型事業所やちぐさを訪れ、社会福祉法人やちぐさ会へ10万円の寄付をいただきました。

浅田 平七理事長、所長、次長が応対しました。

2 1. 食堂のガス漏れ検知器（一式）交換工事が完了する

3月13日午前中、機器の老朽化による誤作動が多くなってきたこともあり、ガス漏れ検知器（一式）の交換工事をおこないました。

調理作業に誤作動もなくなり職員・利用者が安全して調理ができるようになりました。

◎多機能型事業所やちぐさ

1. 就労継続支援B型事業について

「就労継続支援B型事業」では、今年度も少しでも多くの工賃を支給できるようそれぞれの利用者の作業に対する希望や工賃目標に応じた個別支援計画を策定し、それぞれの利用者が作業能力を発揮し、自分に「自信」が持てる、仕事をする喜びを「実感」することができますの支援に努めてきました。

【商品の販売促進について】

金沢市役所交差点角にある「gift」というギフトショップに「ひやくまんさんの金沢金箔サブレ」が並ぶことになりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による観光客の減少により、現在は取り扱いが中止された状態になっています。

【新型コロナウイルス感染症の予防対策として】

石川県内の新型コロナウイルス感染症の拡大により、やちぐさにおいても感染予防の配慮をおこない換気が悪いところや狭いところに人を集めないようにするなど対策を講じました。新型コロナウイルス感染症の予防対策として、検温チェック表を作成し、ご家庭の協力を得て自宅での出勤前検温の数値を記録いただき、やちぐさでも日中の検温や健康面の確認をおこないました。咳などの風邪症状及び発熱などの症状が出ている利用者の早期発見に取り組み、発見した場合には、速やかにご家庭と連絡をとり、自宅で3日間自宅待機をお願いするなどの対応を行いました。また、施設内の除菌清掃をこまめに行いました。

【就労継続支援B型事業の収益について】

就労継続支援B型事業の収益について、菓子班では、純益が約19万円の減益となりました。ダンボールコンポスト受託では、純益が約6.6万円減益となりました。内職その他では、約19万円の減益となりました。前年度は増額できた食品加工・パイプパーツにおいても、食品加工班では前年比約10万円、パイプパーツでは約3万円の減益となりました。公園管理では、約2万円の増益、市役所実習については、約9.6万円の増益となりました。

一部の作業では、増益となった部門が見られるものの就労継続支援B型全体で見ると収益は大きく落ち込みました。新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により、生産活動収

入はさらに大幅な減少となりました。

【就労継続支援B型事業全体の平均工賃（12ヶ月換算）】

就労継続支援B型事業全体の平均工賃（12ヶ月換算）としては、20,317円を支給しました。

令和3年度介護給付費等算定等に係る体制等に関する届出については、コロナ禍の為、福祉サービス等報酬を算定する柔軟な取り扱いとして、前々年度の平均工賃月額を基本報酬の算定区分とすることが可能となりましたので令和元年度の平均工賃月額である25,110円を用いて届出をしました。

2. 生活介護事業について

「生活介護事業」では個別支援計画を作成し、それぞれの利用者の障害・病気に最大限配慮した支援を実施するために、毎月一度看護師が生活介護の利用者全員と面談して健康管理をおこなっています。

【健康管理について】

利用者本人への問診や健康チェックを実施し、担当スタッフから1カ月の状況報告や医療的な相談をおこない、看護師として健康面や衛生面などのアドバイスをいただいています。必要に応じてやちぐさからご家庭の方へ健康アドバイスをおこなっています。健康アドバイスはご家庭での健康管理意識の向上にもつながり保護者からも大変喜ばれています。

【作業療法と生活介護事業全体の平均工賃（12カ月換算）】

作業療法として軽作業をおこなっております。職種としてはパイプのねじ締めやタオル折り・袋詰めなどをおこなっています。

生活介護事業全体の平均工賃（12カ月換算）としては、5,975円（前年比△347円）を支給することができました。

【体力作り・創作活動など】

体力作りとしては、ウォーキング・エアロビクス、エアロバイクなどを行いました。ウォーキングについては、1回ごとにハンコを押してもらえ、ハンコがたまると景品がもらえるということで利用者の運動意欲向上につながりました。

運動面の取り組みでは、毎日午前と午後に時間を作り、エアロバイクを消毒するなど新型コロナウイルス感染対策をしっかりと講じた上で、エアロバイクで体を動かし筋力維持に努めてきました。

利用者の好きな動画を見ながら運動に取り組むことで、楽しく運動ができていたようです。運動時間のアップに効果が見られました。

押し花教室と絵画教室では月に1回、専門の先生が来所しそれぞれの利用者が楽しく充実した時間を過ごせるよう支援してきました。

【連絡帳の活用】

生活介護では、独自の連絡帳を作成し、健康状態や生活介護としての活動内容、服薬状況などをご家庭に連絡しています。連絡帳にはご家庭からの連絡事項なども記載いただきなど連携を深めて利用者の支援に活かすことができました。

3. 利用者の在籍状況 令和2年度：令和3年3月末現在

(多機能型事業所やちぐさ 就労継続支援B型26名・生活介護18名 合計44名)

(1) 入所者 2名

(2) 退所者 0名

(3) 在籍 44名 (男性21名 女性23名)

事業名	人数	男性	女性	手帳A	手帳B
就労継続支援B型	26	13	13	10	16
生活介護	18	8	10	15	3
合計	44	21	23	25	19